

多職種連携を基盤とする退院支援シンポジウム開催要領

高知県委託事業 施設・在宅を支援する看護師育成研修
看護職の役割拡大による地域包括ケアの推進関係事業

- 1 目的 多職種連携の重要性を再認識し、自施設での退院支援の質向上を図ることができ
る。
- 2 主催 高知県看護協会（高知県委託事業）
- 3 日時 令和8年1月31日（土）13：00～16：10
- 4 場所 高知県看護協会会館 オンライン併用
- 5 受講料 無料
- 6 対象 看護職
施設・医療機関に勤務する退院支援に携わっている看護職
在宅ケアに携わっている看護職
医療・介護・福祉の従事者
- 7 プログラム
13：00 開会挨拶 高知県看護協会 会長 森下 安子
13：05 シンポジウム発表
テーマ「退院困難と思われた患者の在宅移行を支援して」
座長 高知県看護協会 会長 森下 安子
【シンポジスト】
1部：入院から退院までの病院スタッフの関わりと訪問看護の導入
・病棟看護師の立場で 中山 和代 氏（近森病院）
・管理栄養士の立場で 田部 大樹 氏（近森病院）
・理学療法士の立場で 上田 優輝 氏（近森病院）
・皮膚・排泄ケア認定看護師の立場で 安松 和美 氏（近森病院）
・ソーシャルワーカーの立場で 田村 歌穂 氏（近森病院）
・退院調整看護師の立場で 森澤 恵 氏（近森病院）
・訪問看護師の立場で 戸梶 隆司 氏（高知中央訪問看護ステーション）
2部：外来での病院スタッフの関わりと訪問診療、訪問看護師、訪問薬剤師の関わり
・管理栄養士の立場で 田部 大樹 氏（近森病院）
・皮膚・排泄ケア認定看護師の立場で 安松 和美 氏（近森病院）
・退院調整看護師の立場で 森澤 恵 氏（近森病院）
・訪問看護師の立場で 小松 美乃 氏（高知中央訪問看護ステーション）
・訪問薬剤師の立場で 伊藤 悠人 氏（くろしお薬局）
・在宅医の立場で 市川 英明 氏（かもだの診療所）
14：50 参加者とのディスカッションとまとめ
15：00 休憩
15：10 多職種事例検討会の取り組み報告会 5地区支部より（合同含む） 各10分間
「多職種事例検討会を通してみえてきた地域包括ケア推進のために看護職として取り組むこと」
16：10 閉会 挨拶 地域包括ケア推進委員会 委員長 山本 詩帆